

# 企業局主要施設

## 久志浄水場

久志浄水場は、1日当たり35万1,400 m<sup>3</sup>の処理能力を有する県下最大の上水道及び工業用水道の共同施設として、沖縄本島北部名護市の東海岸に建設され、昭和50年度に供用を開始しました。

水源は、福地ダム等の北部ダム群及び北部河川で、同浄水場で沈でん処理した水は、一部を工業用水として工場等に供給し、大半を上水道の原水として石川・北谷・西原の各浄水場に送水しています。



## 名護浄水場

名護浄水場は、沖縄本島北部の名護市にあり、昭和50年度に1日当たり処理能力1万4,000 m<sup>3</sup>の施設として建設されました。平成7年度には、水需要に対応するため、1日当たり2万7,000 m<sup>3</sup>に拡張しました。

また、カビ臭対策のため、平成28年度に粉末活性炭注入設備及び粉末活性炭接触池の供用を開始しました。

水源は、主に平南川・源河川、羽地ダムで、名護市を始め、北部5市町村に供給しています。

供給先市町村：名護市・本部町・今帰仁村・恩納村・伊江村



## 石川浄水場

石川浄水場は、沖縄本島中部のうるま市にあり、旧石川浄水場の施設老朽化や水需要増大等に対処するため、平成23年度に1日当たり16万5,600 m<sup>3</sup>の処理能力で新たに供用を開始しました。

また、トリハロメタン低減化対策や水源水質に対応するための高度浄水処理施設は、平成27年度から全面供用しています。

さらに、環境負荷軽減を目的に水の落差エネルギーを利用した小水力発電設備を設置しており、その電力を浄水場で有効利用することで、電力使用量を低減しています。

水源は、福地ダム等の北部ダム群を水源とした久志浄水場の沈でん処理水と、漢那・金武・山城ダムで、主に中部と南部の16市町村に供給しています。

供給先市町村：うるま市・金武町・恩納村・読谷村・嘉手納町・沖縄市・北中城村・中城村・西原町・那覇市・豊見城市・糸満市・南風原町・与那原町・八重瀬町・南城市（うち、南風原町と八重瀬町の2町は南部水道企業団に対して供給）

※各市町村の地区によっては、供給元の浄水場が異なることもあります。



## 水質管理事務所

石川浄水場内に設置された水質管理事務所は、安全で安心な水を供給するため、浄水のほか、ダム水や河川水などの浄水場原水や処理工程水の水質検査を行っています。

また、名護・北谷・西原の各浄水場には水質担当職員を配置しており、各浄水場の処理工程水や浄水の水質を検査し、安全性を確認しています。

